
透析患者・健常人における BNT162b2 の 2 回接種後の中和抗体の比較

医療法人衆和会 長崎腎病院

○前田快也 中島幸海 内野拓寿 手島和代 中村麻美 船越哲

【背景】

新型コロナウイルス流行の中、mRNA ワクチンの接種も進んできた。今回、当院では健常者 202 名・透析患者 440 名に BNT162b2 を 3 週間隔で 2 回接種した。そのうち、経時的に測定可能であった、健常者 49 名と透析患者 49 名の中和抗体の測定を行った。

【目的】

健常者と透析患者における BNT162b2 接種後の中和抗体の推移と中和抗体産生に与える因子の解析。

【対象・方法】

2 回接種した健常者 49 名、透析患者 49 名。測定は、1 回目接種 3 週後、2 回目接種 2・3・10 週後の 4 点を測定した

【結果】

健常者:透析患者の中和抗体価中央値は、2 回接種後 2 週目・3 週目・10 週目ではそれぞれ(1610:539 1350:393 741:230)U/ml であった。減衰率は 2 回目接種後 10 週で、両者とも 50%程度の減衰を認めた。年齢との相関は、健常者では特に男性で抗体価と年齢に負の相関を認めたが、透析患者には認められなかった。

【考案】

新型コロナウイルスに対する臨床的に有効な抗体価については定説がないが、今回の結果で抗体価は健常者・透析患者ともに 2 回目接種後 10 週で半減しているため、健常者:透析患者ともにブースター接種が必要と考える。